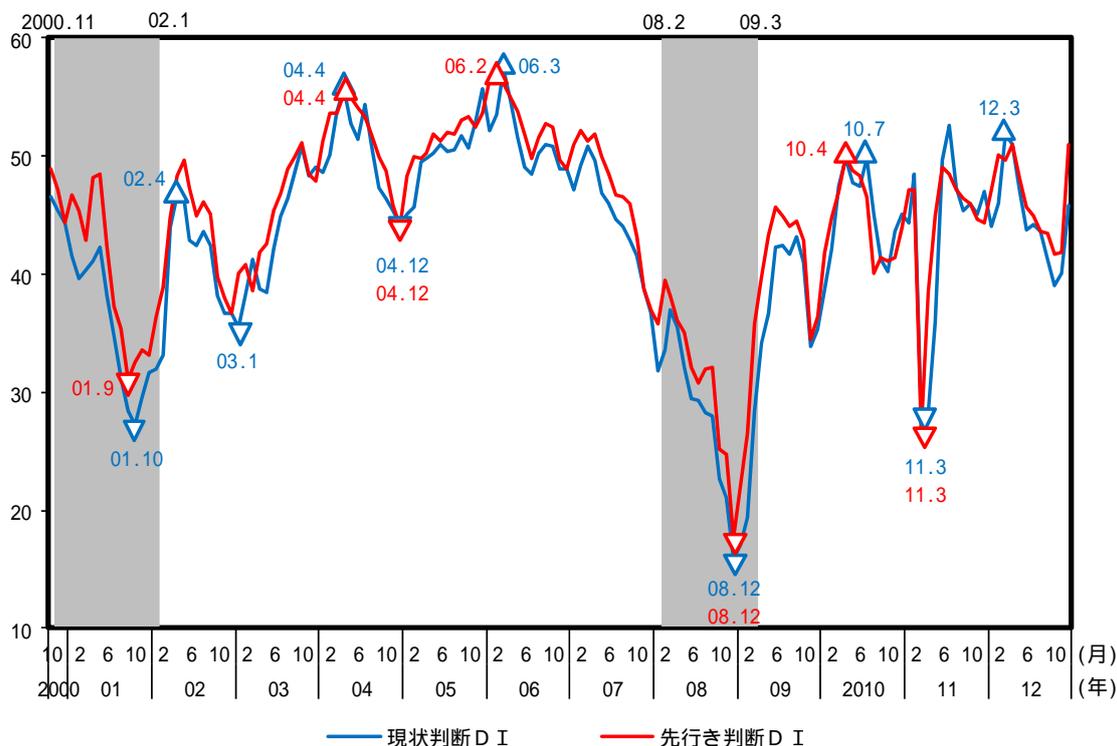


【図表編】

図表 1 景気ウォッチャー調査におけるD Iと景気基準日付の関係



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」より作成。

表 ウォッチャーDIと景気基準日付との関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
景気基準日付	02.1	-	-	-	-	08.2	09.3	-	-	-	-	-	-
現状DI	01.10 (-3)	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3 (-23)	08.12 (-3)	10.7	11.3	12.3	-23	-3	-9.7
先行きDI	01.9 (-4)	-	-	04.4	04.12	06.2 (-24)	08.12 (-3)	10.4	11.3	-	-24	-3.5	-10.3

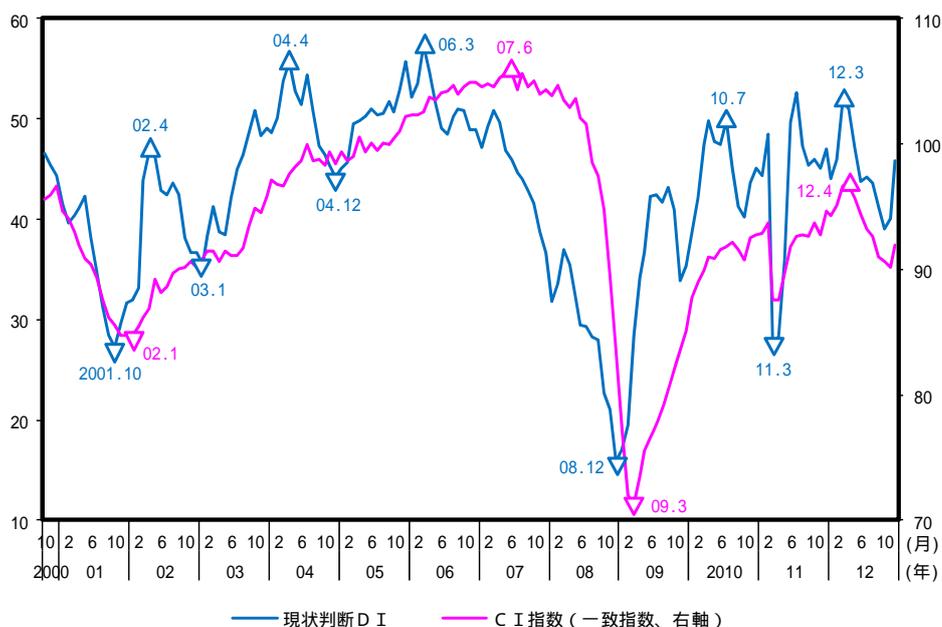
(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状DIの谷と山を時点順に並べたもの。  
 2. ( )内は対応する景気基準日付の山谷との時差。  
 3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

表 現状DIと先行きDIとの関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV	時差相関
現状DI	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-	-
先行きDI	01.9 (-1)	-	-	04.4 (0)	04.12 (0)	06.2 (-1)	08.12 (0)	10.4 (-3)	11.3 (0)	-	-1.3	-0.25	-0.7	0(0.96)

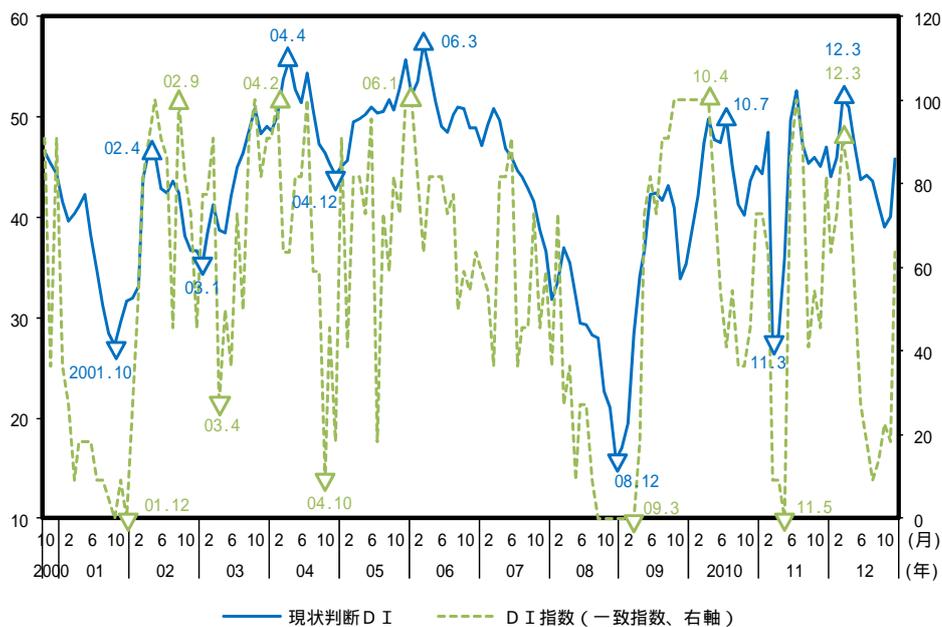
(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状DIの谷と山を時点順に並べたもの。  
 2. ( )内は対応する現状DIの山谷との時差。  
 3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

図表2 現状判断DIとCI指数（一致指数）の関係



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」より作成。  
2. CIは2005年=100とした指数。

図表3 現状判断DIとDI指数（一致指数）の関係



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」より作成。

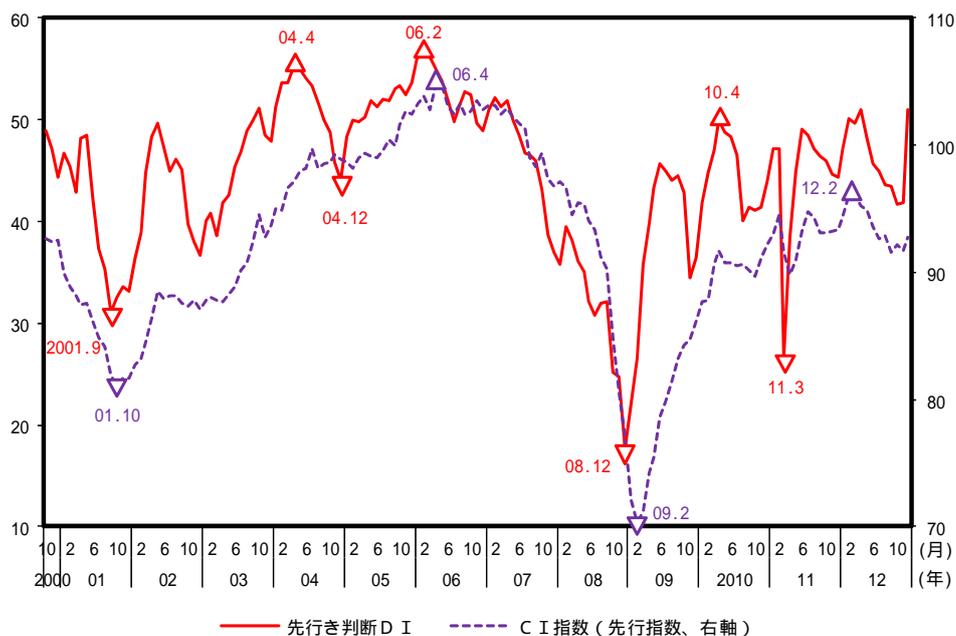
表 ウォッチャーDI（現状）と景気動向指数との関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV	時差相関
現状DI	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-	-
CI一致	02.1 (+3)	-	-	-	-	07.6 (+15)	09.3 (+3)	-	-	12.3 (0)	+7.5	+3.0	+5.3	+6、+7、+8、 +9 (0.77)
DI一致	01.12 (+2)	02.9 (+5)	03.4 (+3)	04.2 (-2)	04.10 (-2)	05.12 (-3)	09.3 (+3)	10.4 (-3)	11.5 (+2)	12.3 (0)	-0.6	+1.8	+0.5	0 (0.65)

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状DIの谷と山を時点順に並べたもの。  
2. ( )内は対応する現状DIの山谷との時差。  
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

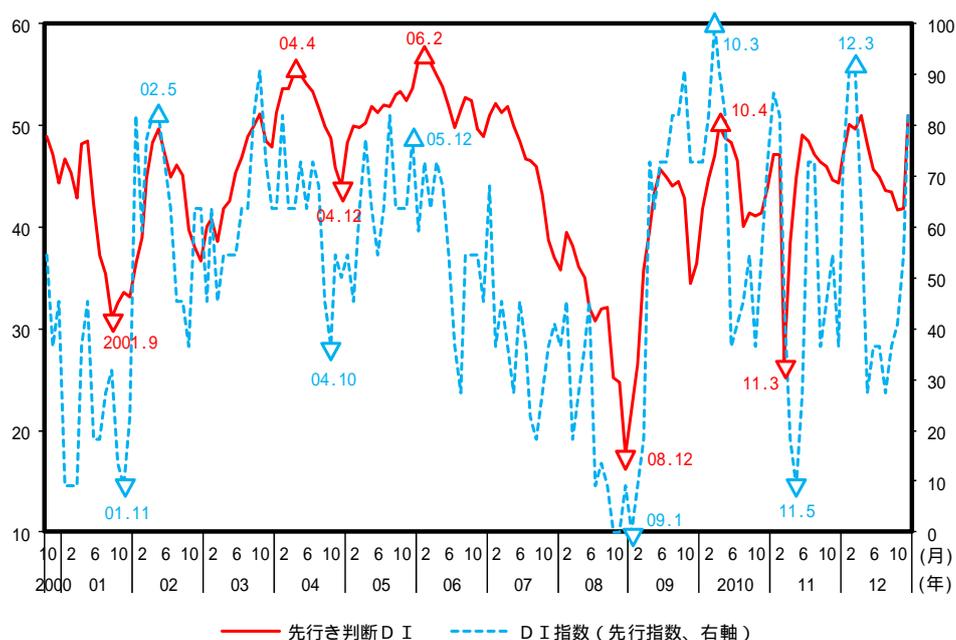
【図表編】

図表4 先行き判断D IとC I指数（先行指数）の関係



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」より作成。  
2. C Iは2005年=100とした指数。

図表5 先行き判断D IとD I指数（先行指数）の関係



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」より作成。

表 ウォッチャーD I（先行き）と景気動向指数との関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV	時差相関
先行きD I	01.9	-	-	04.4	04.12	06.2	08.12	10.4	11.3	-	-	-	-	-
C I先行	01.10 (+1)	-	-	-	-	06.4 (+2)	09.2 (+2)	-	-	12.2	+2	+1.5	+1.7	+3、+4 (0.81)
D I先行	01.11 (+2)	02.5	-	-	04.10 (-2)	05.12 (-2)	09.1 (+1)	10.3 (-1)	11.5 (+2)	12.3	-1.5	+0.8	0	0(0.57)

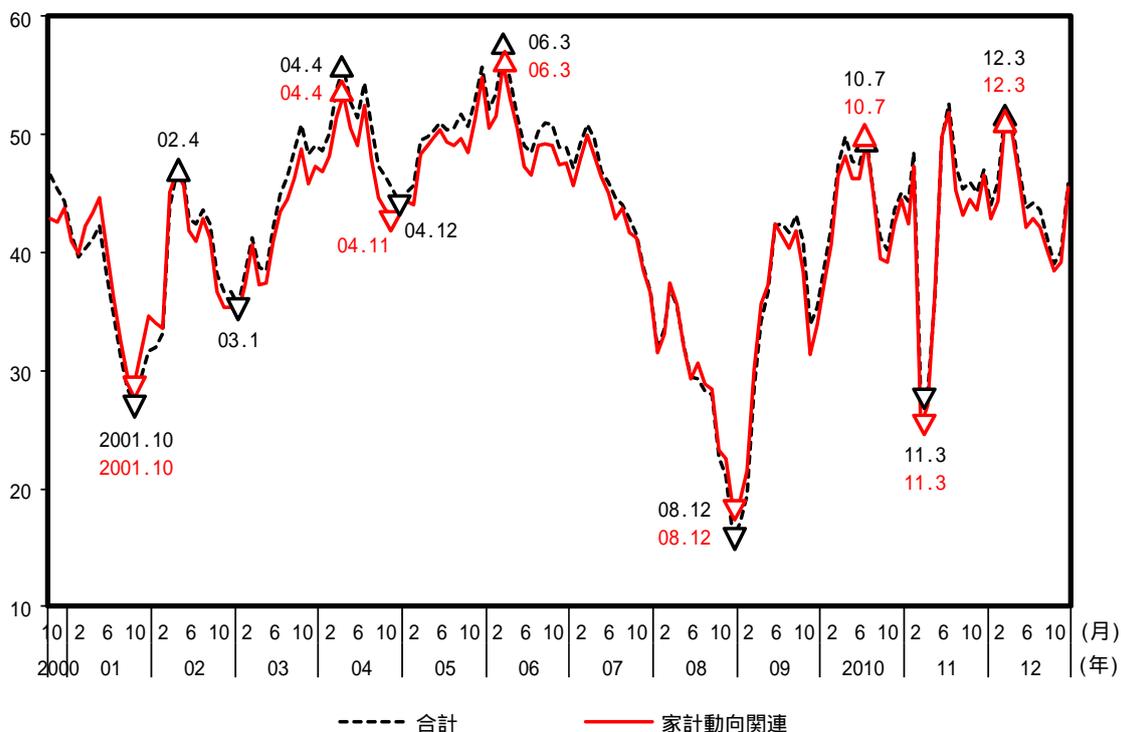
(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。

2. ( )内は対応する先行きD Iの山谷との時差。

3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

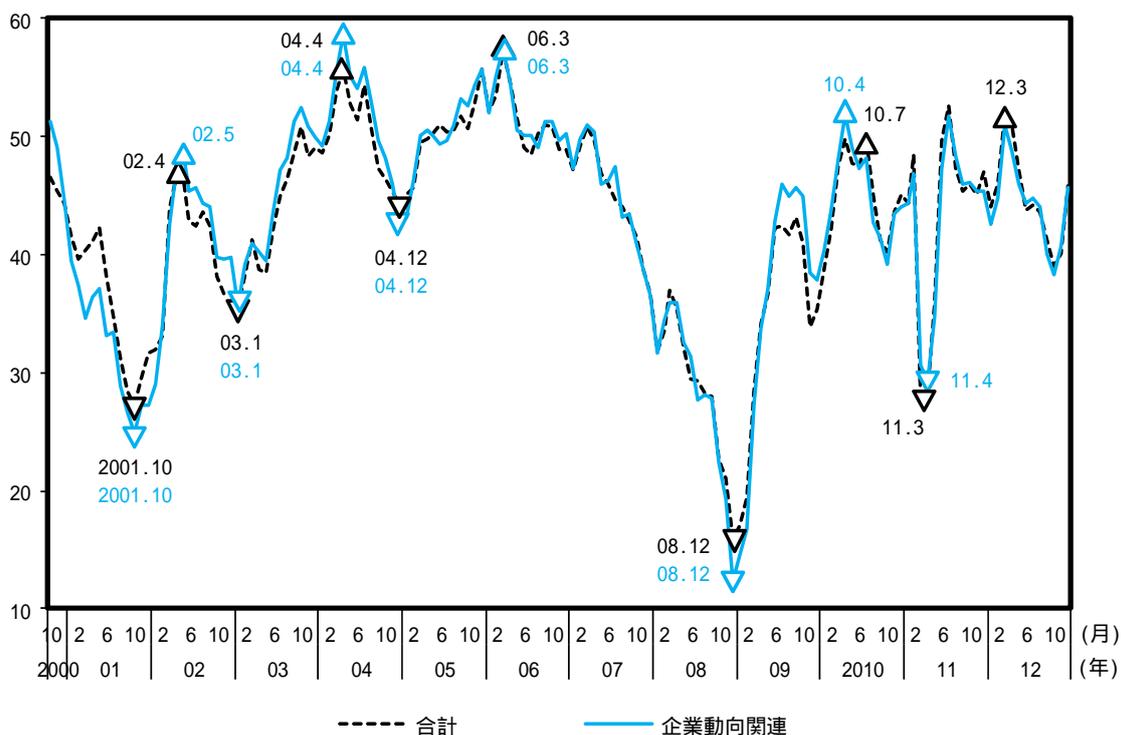
【図表編】

図表6 現状判断DIにおける関係（合計と家計動向関連）



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。

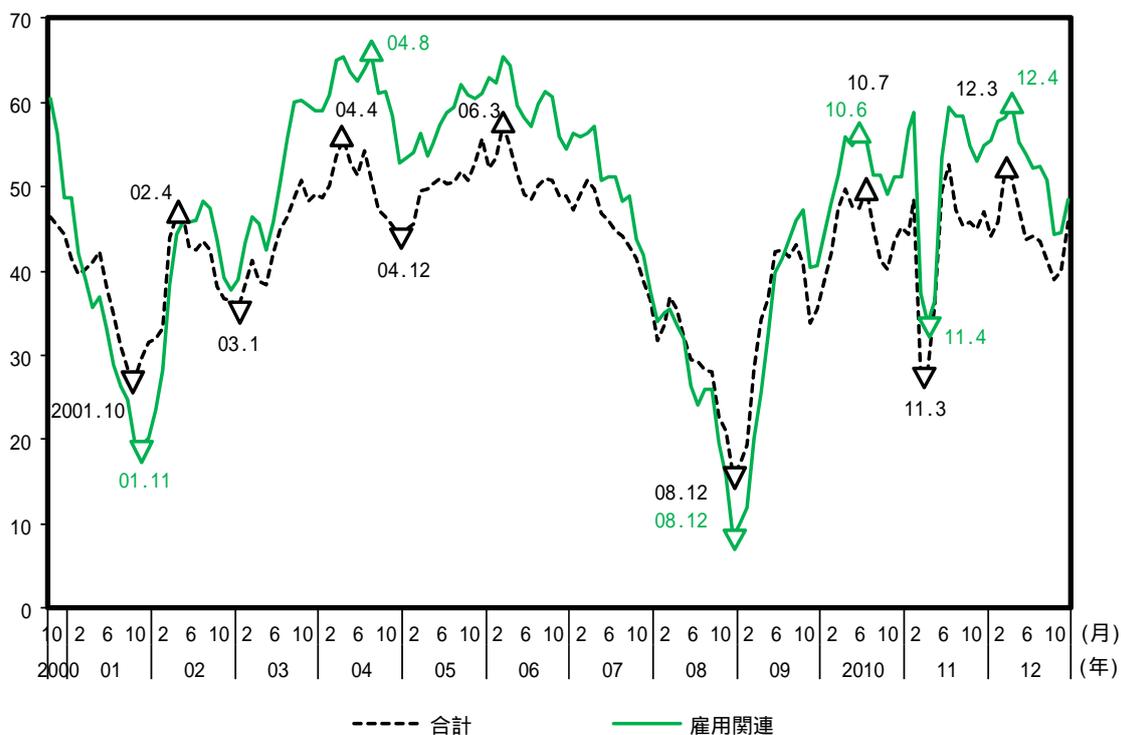
図表7 現状判断DIにおける関係（合計と企業動向関連）



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。 44

【図表編】

図表8 現状判断DIにおける関係（合計と雇用関連）



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。

表 現状判断DIと内訳系列との関係

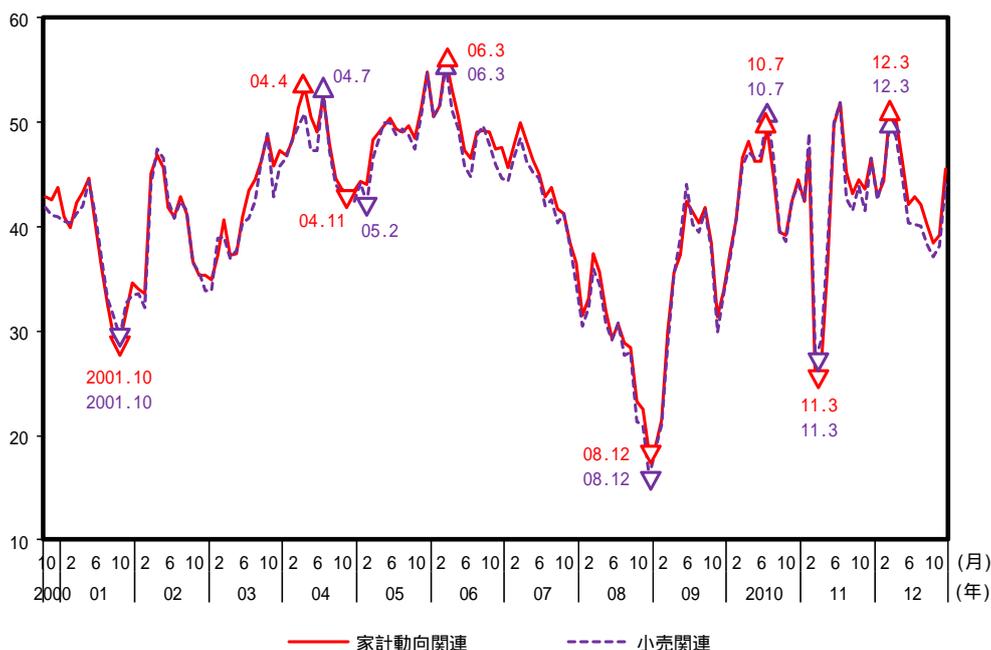
	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状DI	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
家計DI	01.10 (0)	-	-	04.4 (0)	04.11 (-1)	06.3 (0)	08.12 (0)	10.7 (0)	11.3 (0)	12.3 (0)	0	-0.3	-0.1
企業DI	01.10 (0)	02.5 (+1)	03.1 (0)	04.4 (0)	04.12 (0)	06.3 (0)	08.12 (0)	10.4 (-3)	11.4 (+1)	-	-0.5	+0.2	-0.1
雇用DI	01.11 (+1)	-	-	04.8 (+4)	-	-	08.12 (0)	10.6 (-1)	11.4 (+1)	12.4 (+1)	+1.3	+0.7	+1.0

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状DIの谷と山を時点順に並べたもの。

2. ( )内は対応する現状DIの山谷との時差。

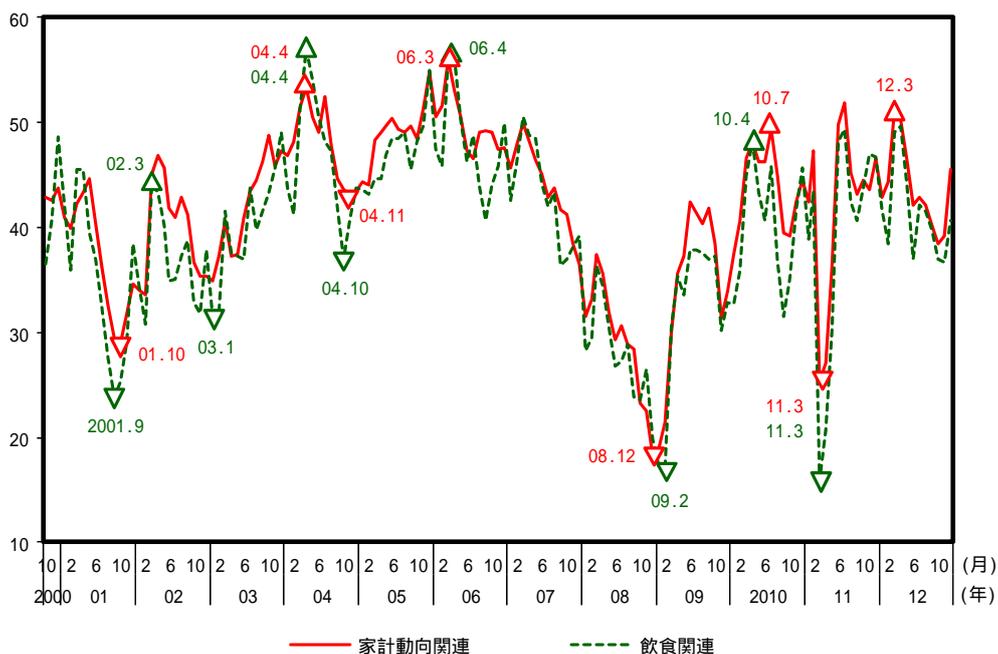
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

【図表編】 図表9 現状判断DIにおける関係（家計動向関連と小売関連）



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。

図表10 現状判断DIにおける関係（家計動向関連と飲食関連）



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。

表 現状判断DI（家計動向関連）と内訳系列との関係

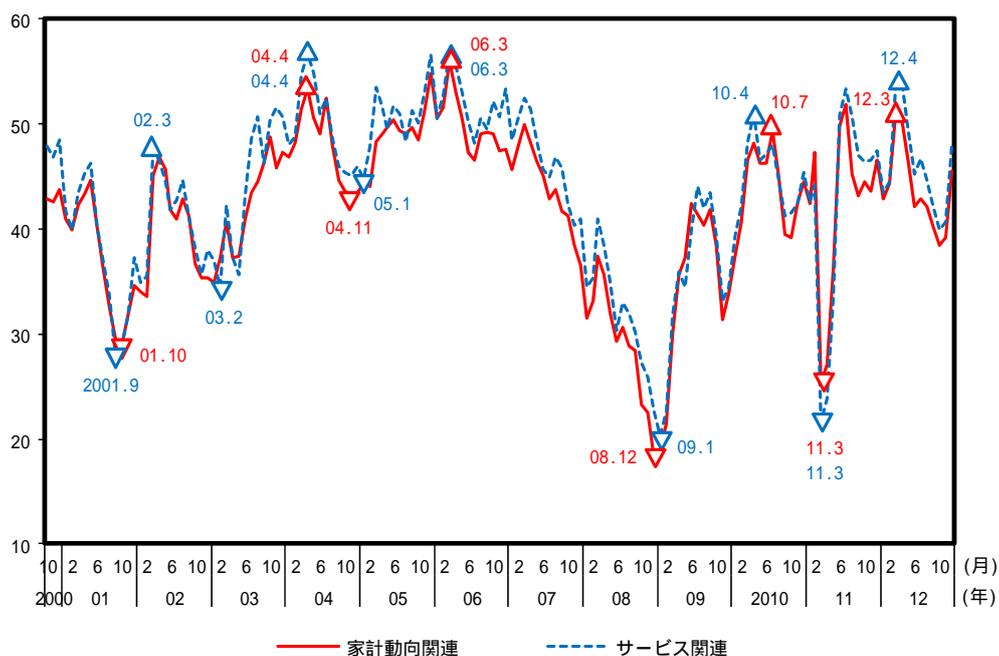
	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
家計DI	01.10	-	-	04.4	04.11	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
小売DI	01.10	-	-	04.7	05.2	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	+0.8	+0.8	+0.8
	(0)			(+3)	(+3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
飲食DI	01.9	02.3	03.1	04.4	04.10	06.4	09.2	10.4	11.3	-	-0.7	0	-0.3
	(-1)			(0)	(-1)	(+1)	(+2)	(-3)	(0)				

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状DIの谷と山を時点順に並べたもの。

2. ( )内は対応する家計DIの山谷との時差。

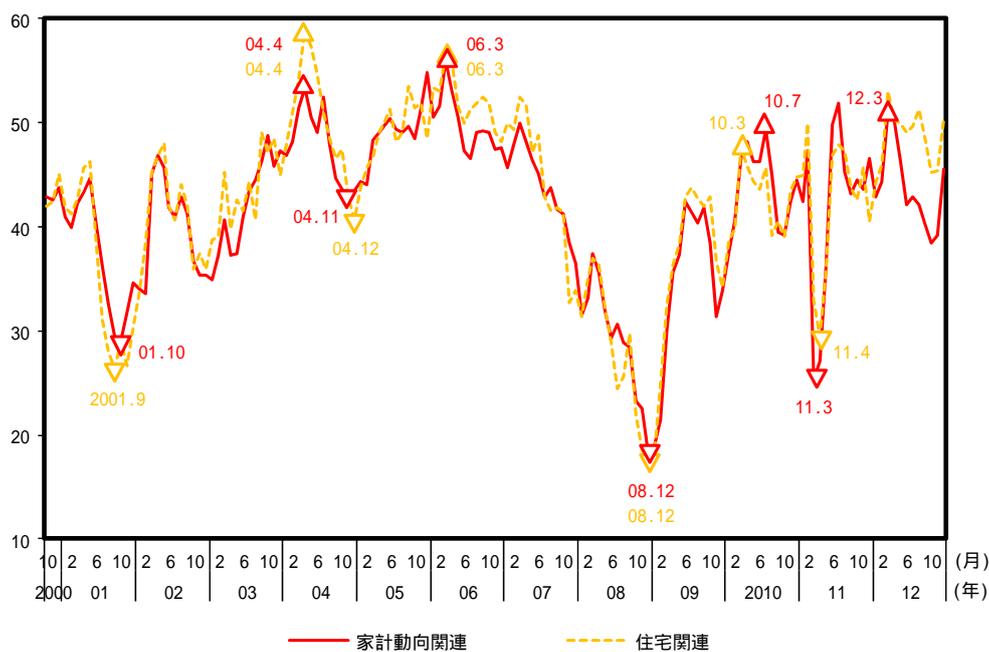
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

【図表編】 図表11 現状判断DIにおける関係（家計動向関連とサービス関連）



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。

図表12 現状判断DIにおける関係（家計動向関連と住宅関連）



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。

表 現状判断DI（家計動向関連）と内訳系列との関係

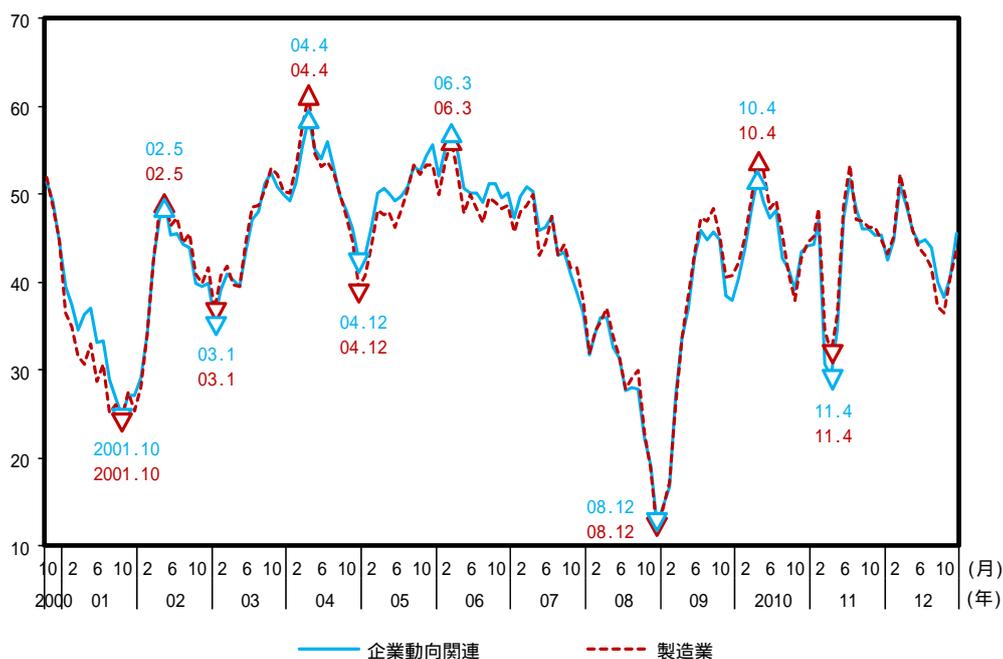
	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
家計DI	01.10	-	-	04.4	04.11	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
サービスDI	01.9 (-1)	02.3	03.2	04.4 (0)	05.1 (+2)	06.3 (0)	09.1 (+1)	10.4 (-3)	11.3 (0)	12.4 (+1)	-0.5	+0.5	0
住宅DI	01.9 (-1)	-	-	04.4 (0)	04.12 (+1)	06.3 (0)	08.12 (0)	10.3 (-4)	11.4 (+1)	-	-1.3	+0.3	-0.4

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状DIの谷と山を時点順に並べたもの。

2. ( )内は対応する家計DIの山谷との時差。

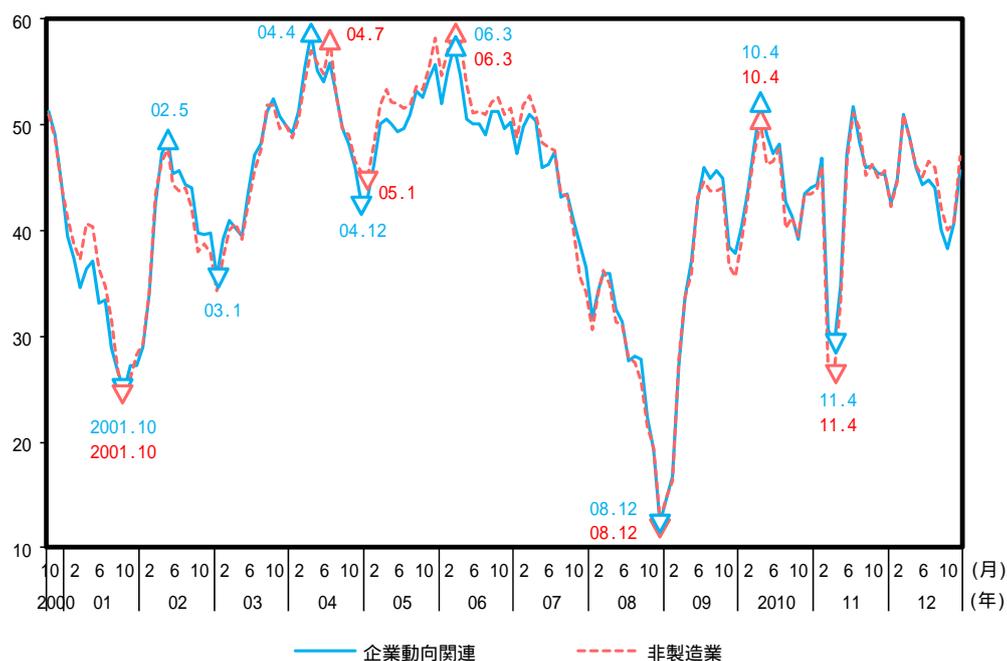
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

図表13 現状判断DIにおける関係（企業動向関連と製造業）



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。

図表14 現状判断DIにおける関係（企業動向関連と非製造業）



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。

表 現状判断DI（企業動向関連）と内訳系列との関係

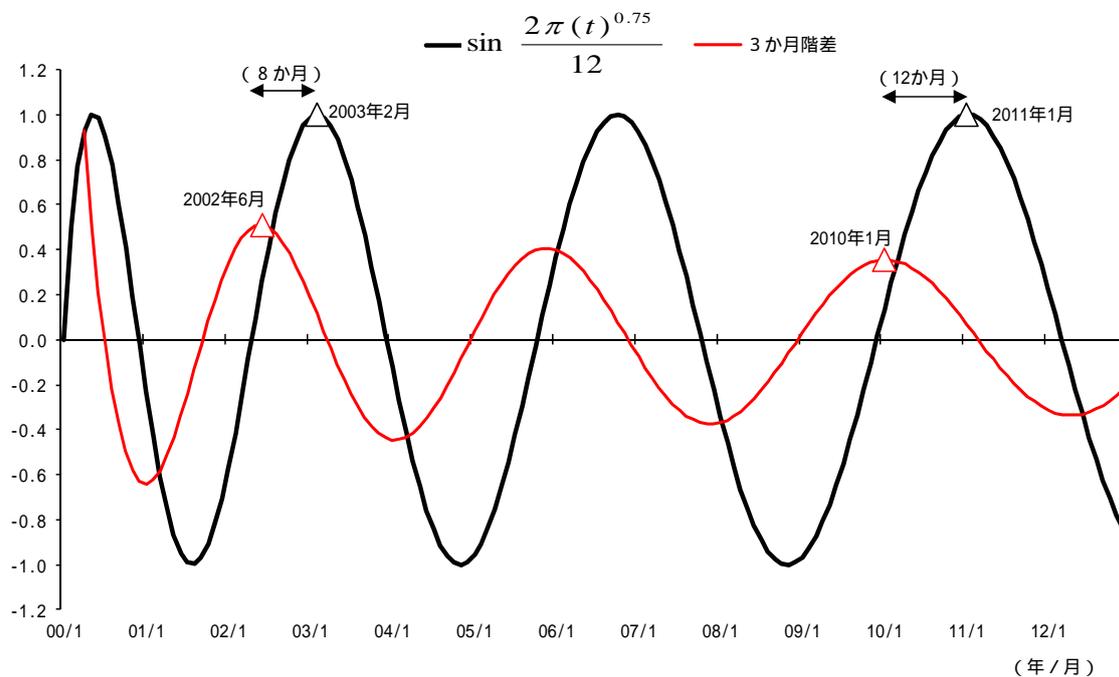
	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
企業DI	01.10	02.5	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.4	11.4	-	-	-	-
製造業DI	01.10 (0)	02.5 (0)	03.1 (0)	04.4 (0)	04.12 (0)	06.3 (0)	08.12 (0)	10.4 (0)	11.4 (0)	-	0	0	0
非製造業DI	01.10 (0)	-	-	04.7 (+3)	05.1 (+1)	06.3 (0)	08.12 (0)	10.4 (0)	11.4 (0)	-	+1.0	+0.3	+0.6

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状DIの谷と山を時点順に並べたもの。

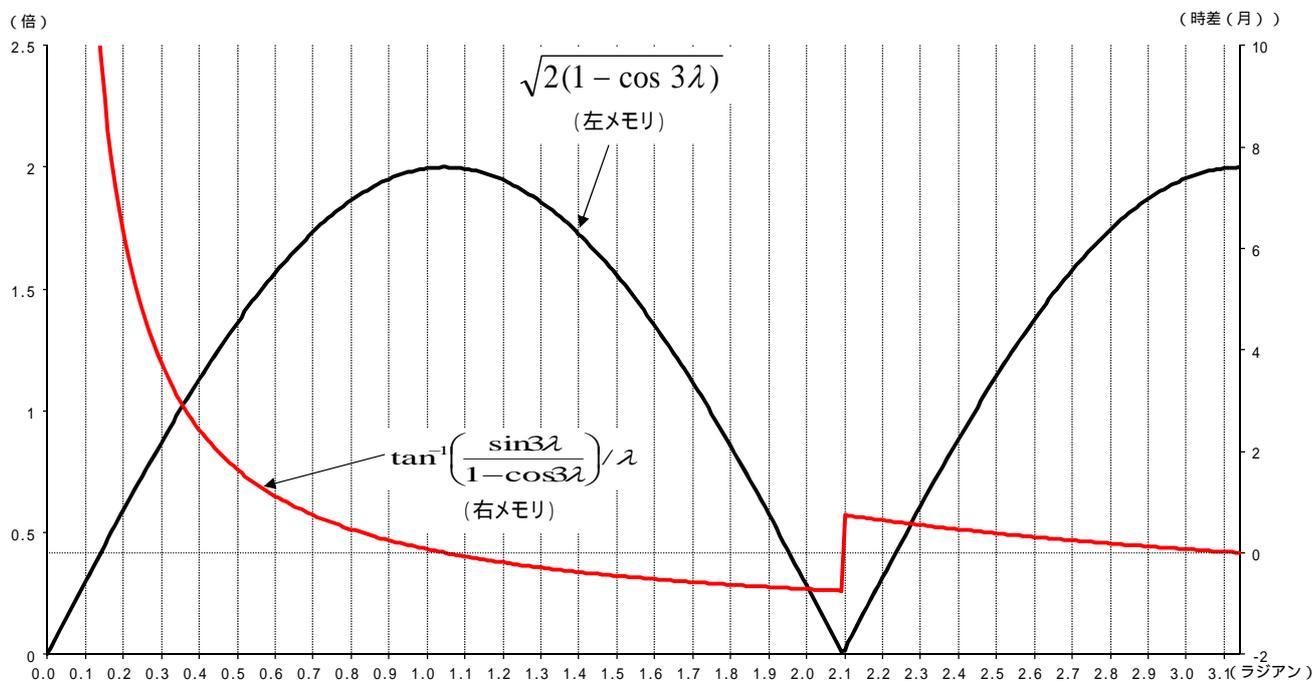
2. ( )内は対応する企業DIの山谷との時差。

3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

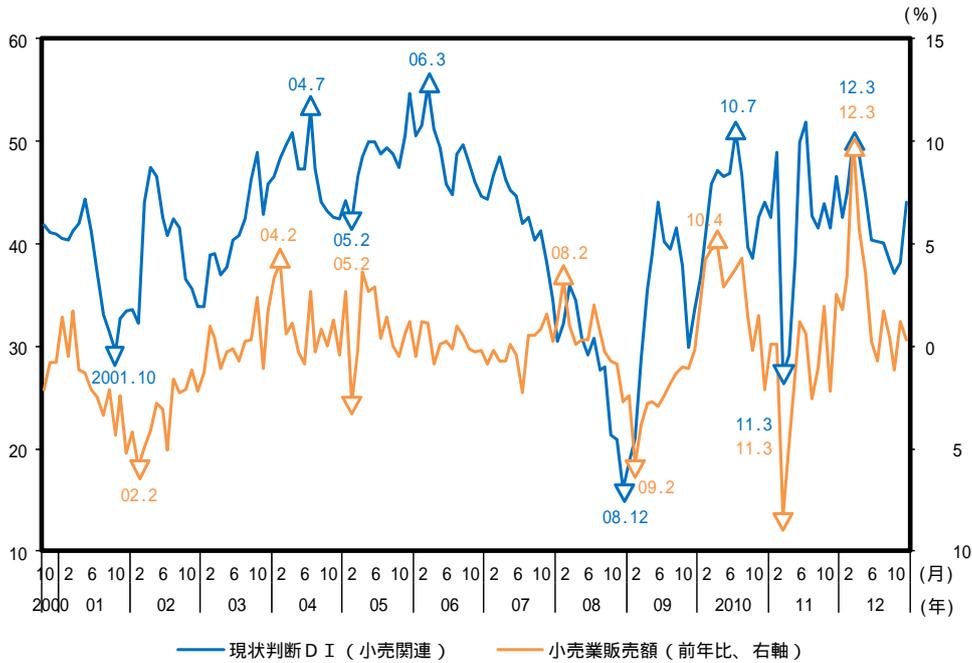
図表15 3か月階差による山谷の先行



図表16 3か月階差の効果

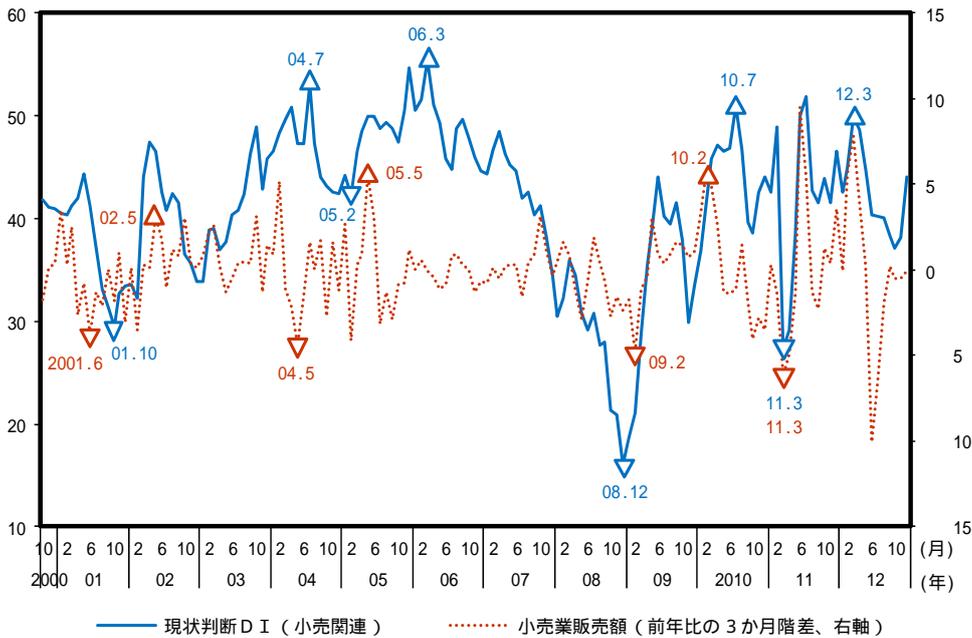


【図表編】 図表17 現状判断D I（小売関連）と小売業販売額（前年比）の関係



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び経済産業省「商業動態統計調査」より作成。

図表18 現状判断D I（小売関連）と小売業販売額（前年比の3か月階差）の関係



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び経済産業省「商業動態統計調査」より作成。

表 現状判断D I（小売関連）と小売業販売額との関係

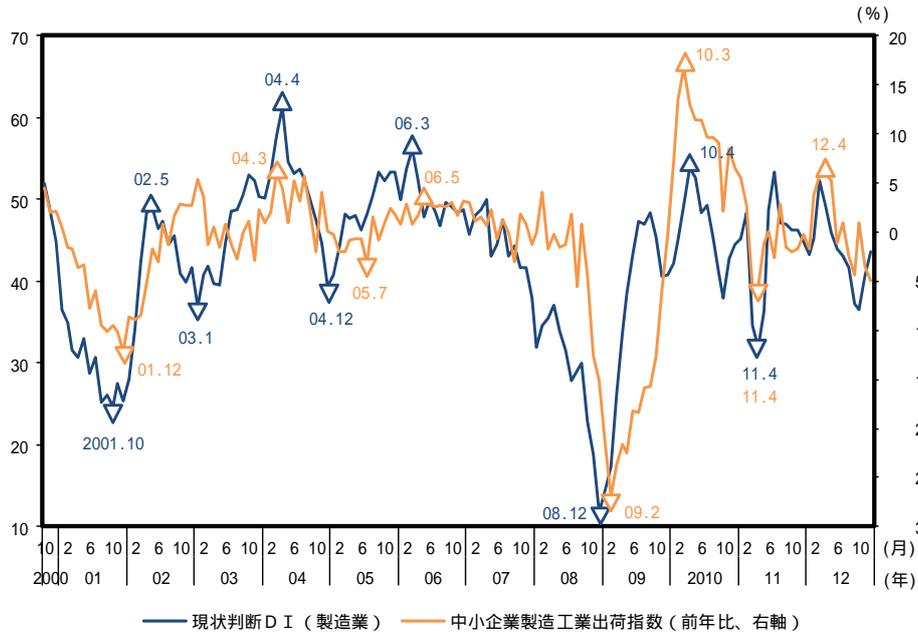
	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I (小売関連)	01.10	-	-	04.7	05.2	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
小売業販売額 (前年比)	-	-	02.2	04.2 (-5)	05.2 (0)	08.2 (+23)	09.2 (+2)	10.4 (-3)	11.3 (0)	12.3 (0)	+3.8	+0.7	+2.4
小売業販売額 (前年比の3か月階差)	01.6 (-4)	02.5	-	-	04.5 (-9)	05.5 (-10)	09.2 (+2)	10.2 (-5)	11.3 (0)	-	-7.5	-2.8	-4.3

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。

2. ( )内は対応する現状D I (小売関連)の山谷との時差。

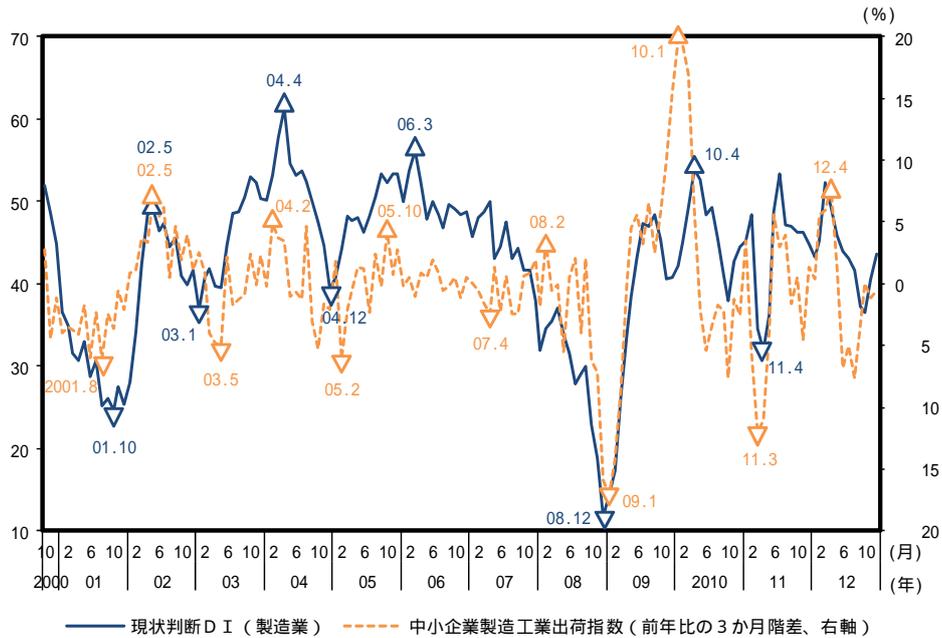
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

【図表編】 図表19 現状判断D I（製造業）と中小企業製造工業出荷指数（前年比）の関係



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び中小企業庁「中小企業製造工業生産指数」より作成。  
2. 中小企業製造工業出荷指数は原数値。

図表20 現状判断D I（製造業）と中小企業製造工業出荷指数（前年比の3か月階差）の関係



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び中小企業庁「中小企業製造工業生産指数」より作成。  
2. 中小企業製造工業出荷指数は原数値。

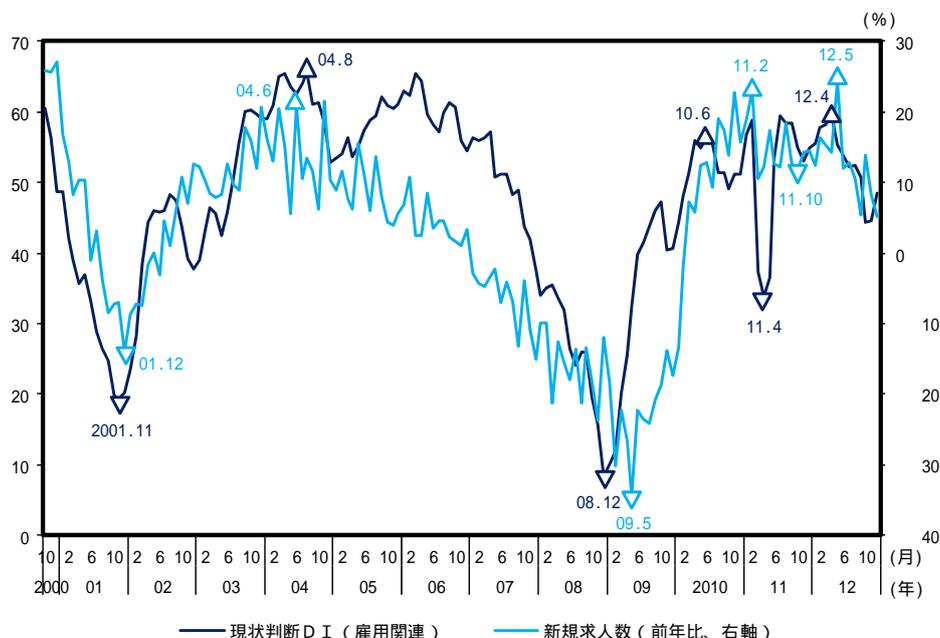
表 現状判断D I（製造業）と中小企業製造工業出荷指数との関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I (製造業)	01.10	02.5	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.4	11.4	-	-	-	-
出荷指数 (前年比)	01.12 (+2)	-	-	04.3 (-1)	05.7 (+7)	06.5 (+2)	09.2 (+2)	10.3 (-1)	11.4 (0)	12.4	0	+2.8	+1.6
出荷指数 (前年比の3か月階差)	01.8 (-2)	02.5 (0)	03.5 (+4)	04.2 (-2)	05.2 (+2)	05.10 (-5)	09.1 (+1)	10.1 (-3)	11.3 (-1)	12.4	-2.5	+0.8	-0.7

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。  
2. ( )内は対応する現状D I（製造業）の山谷との時差。  
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

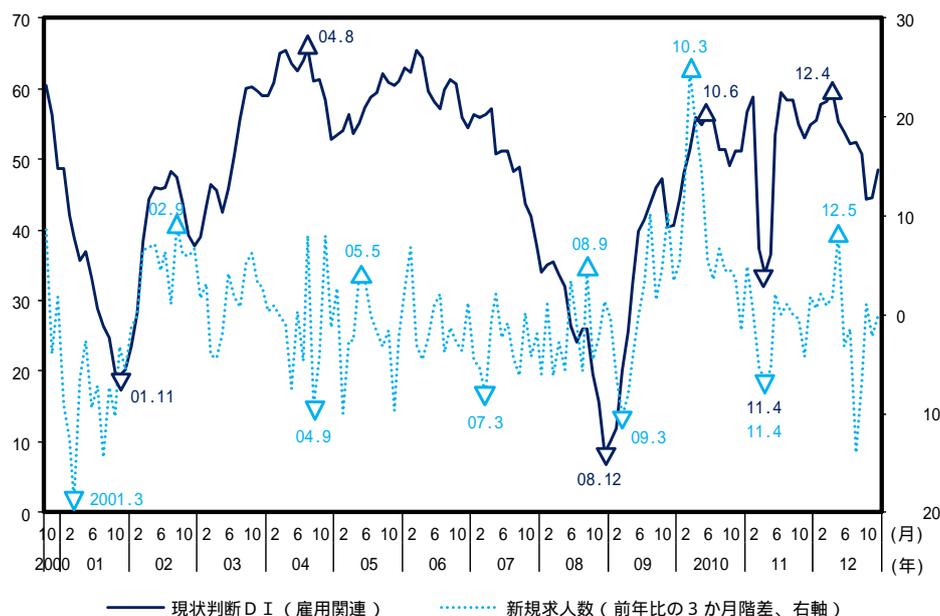
【図表編】

図表21 現状判断D I（雇用関連）と新規求人数（前年比）の関係



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成。  
2. 新規求人数は原数値。

図表22 現状判断D I（雇用関連）と新規求人数（前年比の3か月階差）の関係



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成。  
2. 新規求人数は原数値。

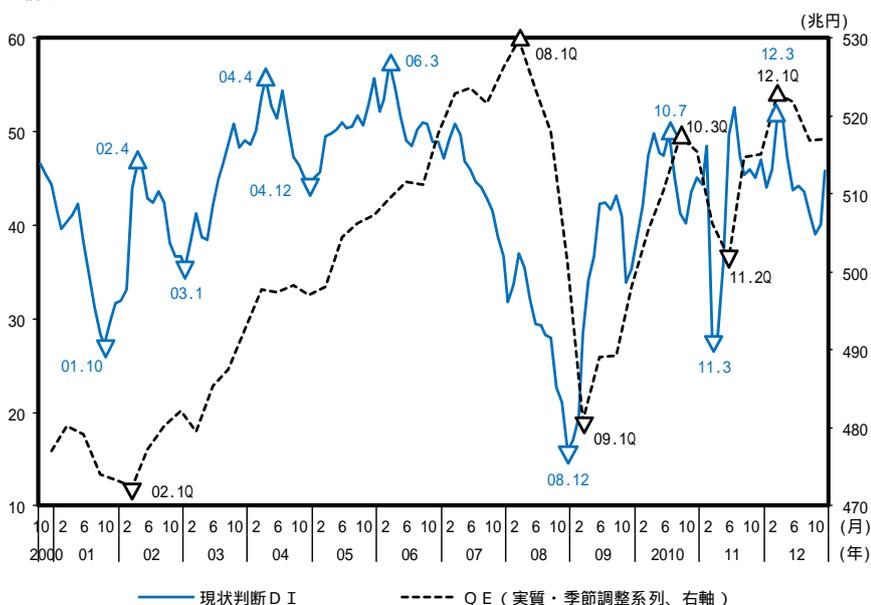
表 現状判断D I（雇用関連）と新規求人数との関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I（雇用関連）	01.11	-	-	04.8	-	-	08.12	10.6	11.4	12.4	-	-	-
新規求人数（前年比）	01.12 (+1)	-	-	04.6 (-2)	-	-	09.5 (+5)	11.2 (+8)	11.10 (+6)	12.5 (+1)	+2.3	+4.0	+3.2
新規求人数（前年比の3か月階差）	01.3 (-8)	02.9	-	-	04.9	05.5	09.3 (+3)	10.3 (-3)	11.4 (0)	12.5 (+1)	-1.0	-1.7	-1.4

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。  
2. ( )内は対応する現状D I（雇用関連）の山谷との時差。  
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

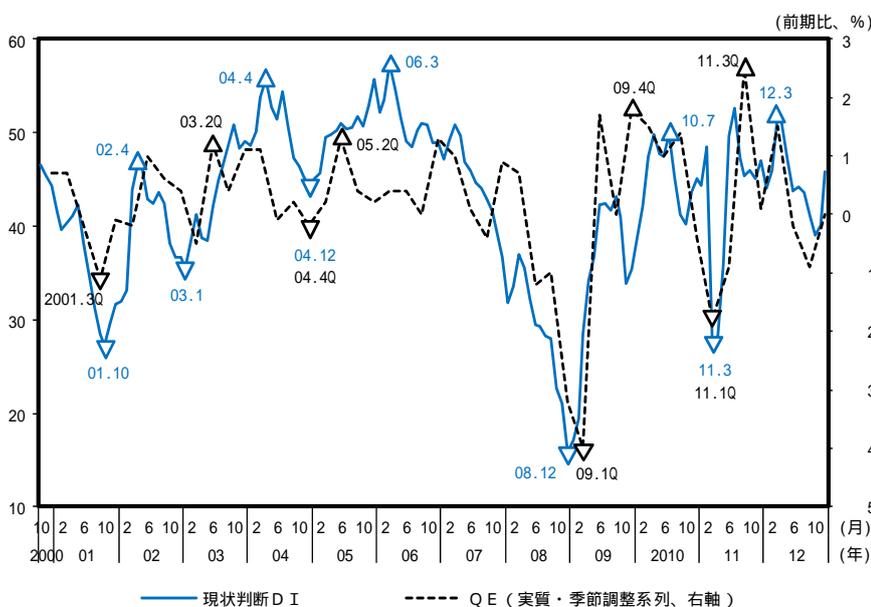
【図表編】

図表23 現状判断D I とQE（実額）



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び「国民経済計算」より作成。  
 2. QEは1-3月期を3月、4-6月期を6月、7-9月期を9月、10-12月期を12月の欄にそれぞれ記載している。

図表24 現状判断D I とQE（前期比）



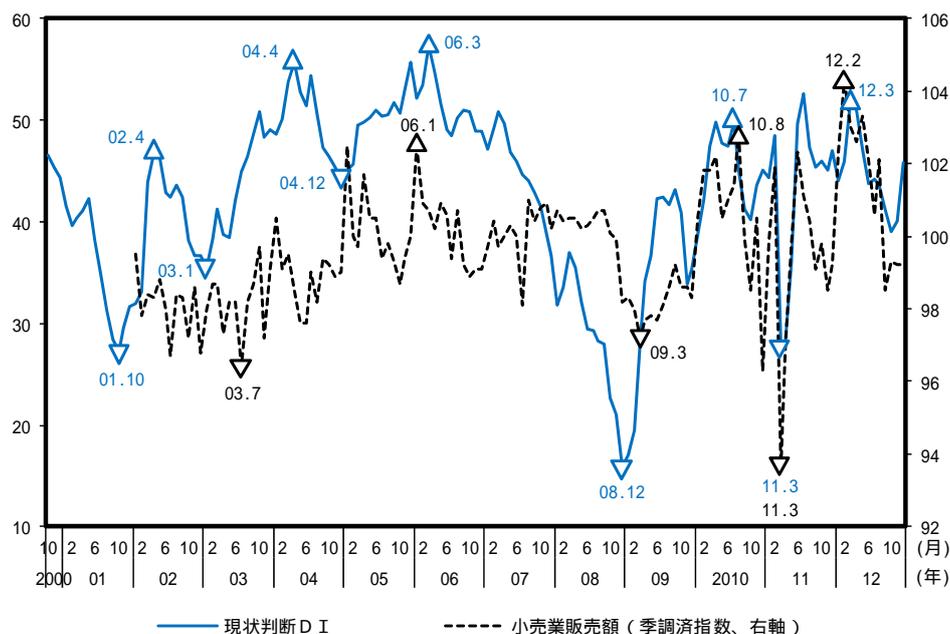
(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び「国民経済計算」より作成。  
 2. QEは1-3月期を3月、4-6月期を6月、7-9月期を9月、10-12月期を12月の欄にそれぞれ記載している。

ウォッチャーD I（現状）とQEとの関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
QE (実額)	02.1Q (+5)	-	-	-	-	08.1Q (+24)	09.1Q (+3)	10.3Q (+2)	11.2Q (+3)	12.1Q (0)	+8.7	+3.7	+6.2
QE (前期比)	01.3Q (-1)	-	-	03.2Q (-10)	04.4Q (0)	05.2Q (-9)	09.1Q (+3)	09.4Q (-7)	11.1Q (0)	11.3Q (-6)	-8.0	+0.5	-3.8

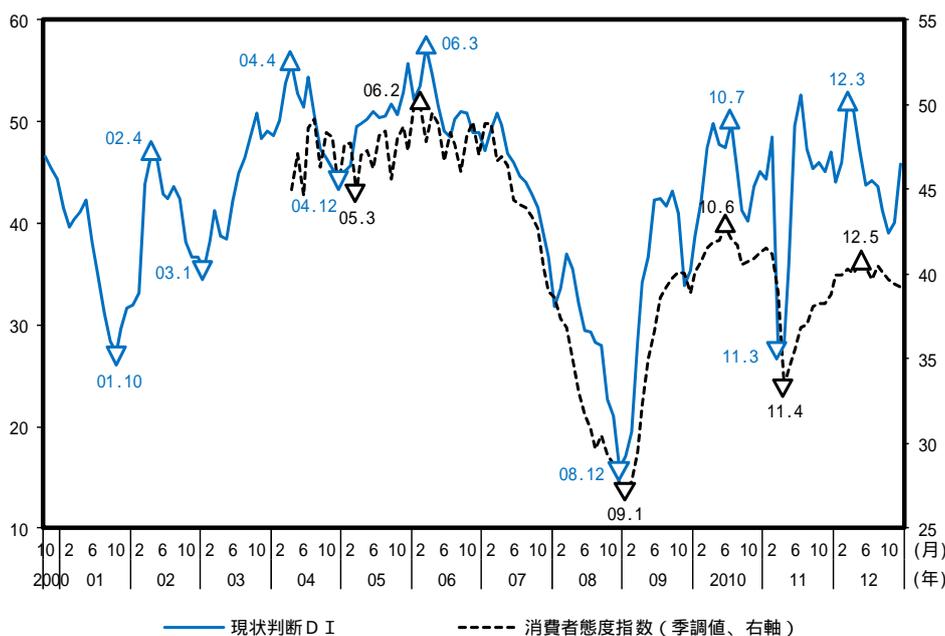
(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。  
 2. ( )内は対応する現状D Iの山谷との時差。  
 3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。  
 4. QEの現状D Iの山谷との時差は1-3月期を3月、4-6月期を6月、7-9月期を9月、10-12月期を12月として計算。

図表25 現状判断D I と小売業販売額



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び経済産業省「商業販売統計」より作成。

図表26 現状判断D I と消費者態度指数



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び「消費動向調査」より作成。

ウォッチャーD I (現状) と小売業販売額、消費者態度指数との関係

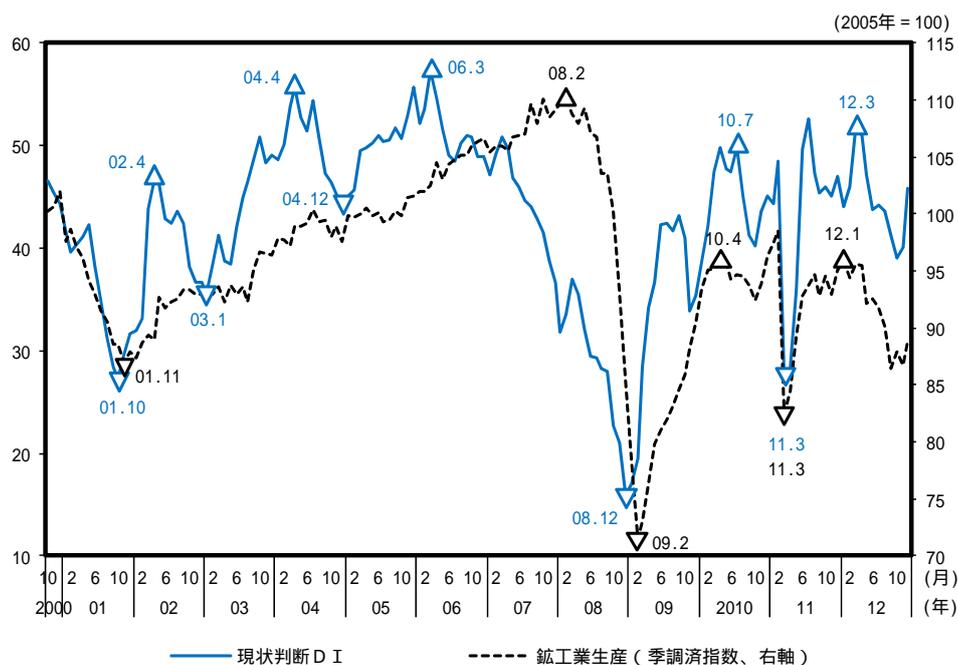
	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
小売業販売額	-	-	03.7 (+6)	-	-	06.1 (-2)	09.3 (+3)	10.8 (+1)	11.3 (0)	12.2 (-1)	-0.7	+3.0	+1.2
消費者態度指数	-	-	-	-	05.3 (+3)	06.2 (-1)	09.1 (+1)	10.6 (-1)	11.4 (+1)	12.5 (+2)	0	+1.7	+0.8

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。

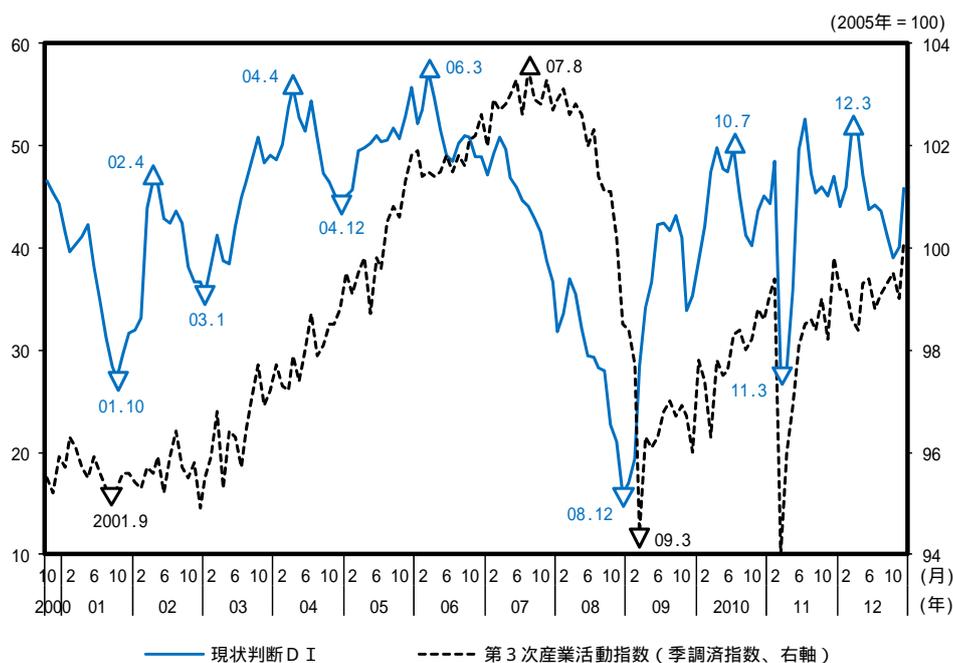
2. ( )内は対応する現状D Iの山谷との時差。

3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

図表27 現状判断D Iと鉱工業生産



図表28 現状判断D Iと第3次産業活動指数



ウォッチャーD I (現状)と鉱工業生産、第3次産業活動指数との関係

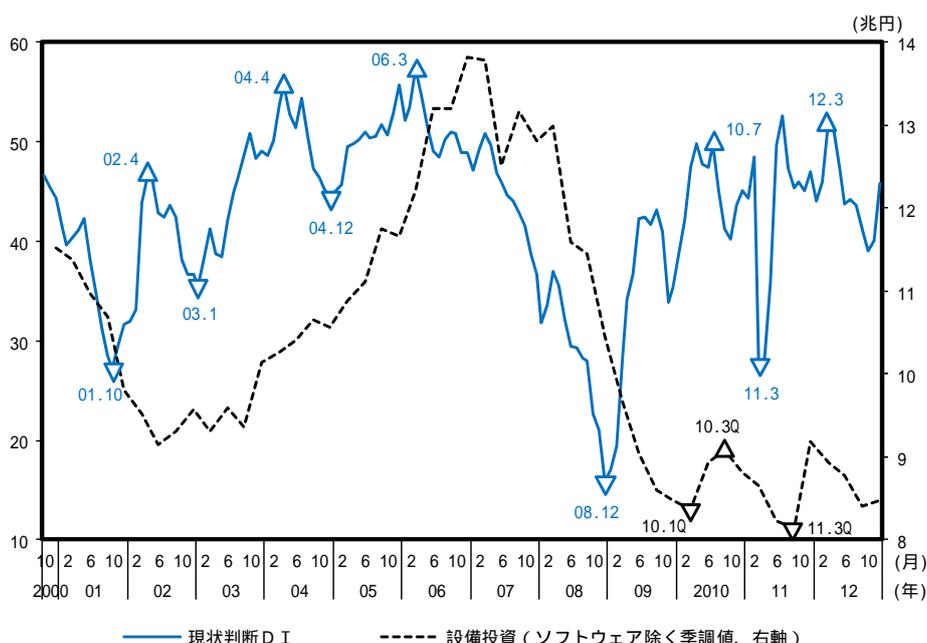
	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
鉱工業生産	01.11 (+1)	-	-	-	-	08.2 (+23)	09.2 (+2)	10.4 (-3)	11.3 (0)	12.1 (-2)	+6.0	+1.0	+3.5
第3次産業活動指数	01.9 (-1)	-	-	-	-	07.8 (+17)	09.3 (+3)	-	-	-	+17.0	+1.0	+6.3

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。

2. ( )内は対応する現状D Iの山谷との時差。

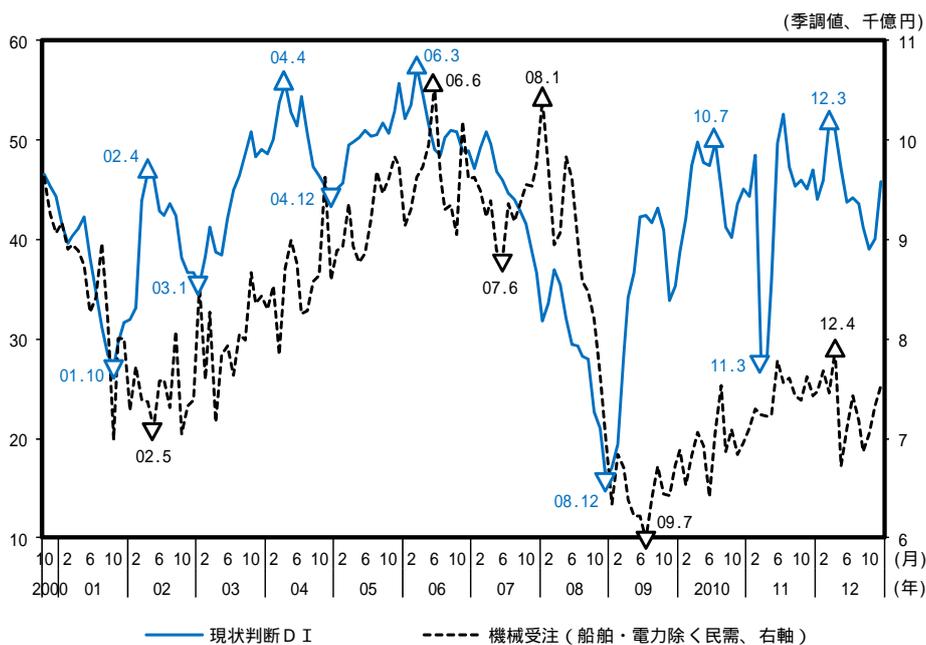
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

図表29 現状判断D I と設備投資



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び財務省「法人企業統計季報」より作成。  
 2. 設備投資は1 - 3月期を3月、4 - 6月期を6月、7 - 9月期を9月、10 - 12月期を12月の欄にそれぞれ記載している。

図表30 現状判断D I と機械受注（船舶・電力除く民需）



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び「機械受注統計」より作成。

ウォッチャーD I（現状）と設備投資、機械受注（船舶・電力除く民需）との関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
設備投資	-	-	-	-	-	-	10.10 (+15)	10.3Q (+2)	11.3Q (+6)	-	+2.0	+10.5	+7.7
機械受注	02.5 (+7)	-	-	-	-	06.6 (+3)	09.7 (+7)	-	-	12.4 (+1)	+2.0	+7.0	+4.5

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。

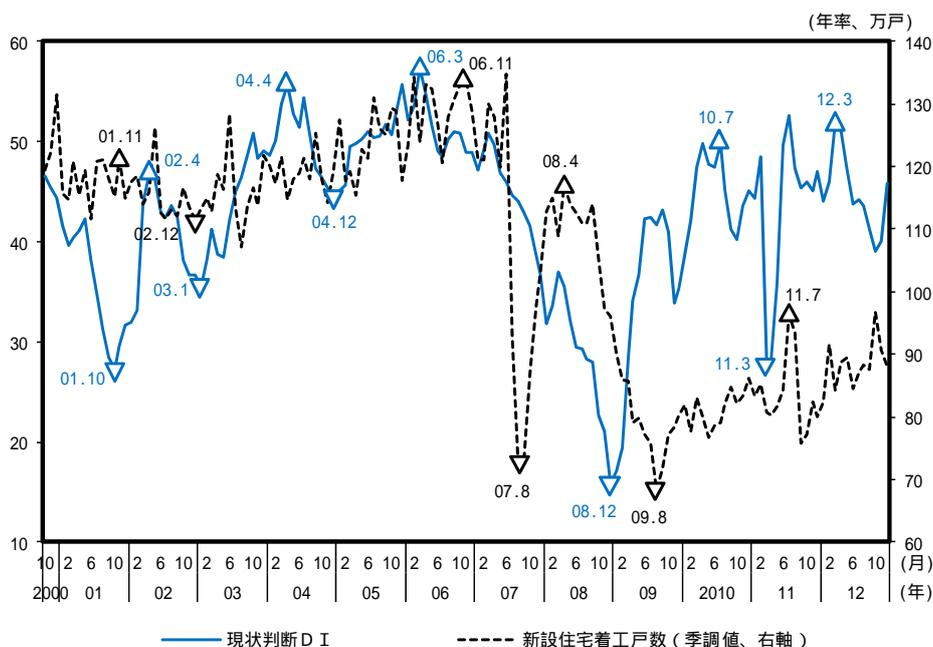
2. ( )内は対応する現状D Iの山谷との時差。

3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

4. 設備投資の現状D Iの山谷との時差は1 - 3月期を3月、4 - 6月期を6月、7 - 9月期を9月、10 - 12月期を12月として計算。

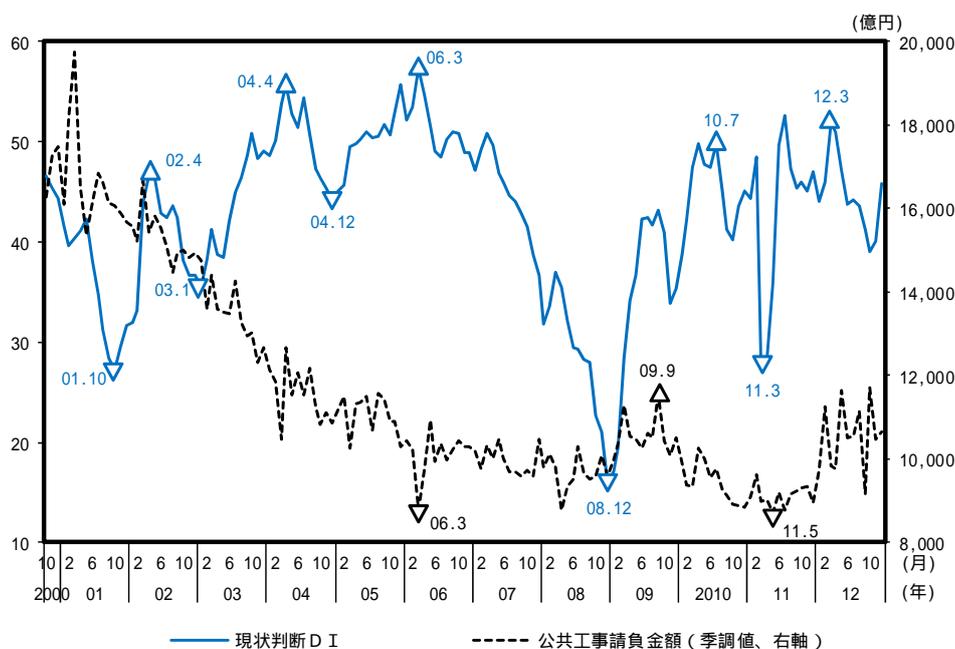
【図表編】

図表31 現状判断D Iと新設住宅着工戸数



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び国土交通省「建築着工統計」より作成。

図表32 現状判断D Iと公共工事請負金額



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」より作成。

2. 公共工事請負金額は内閣府で季節調整。

ウォッチャーD I (現状)と新設住宅着工戸数、公共工事請負金額との関係

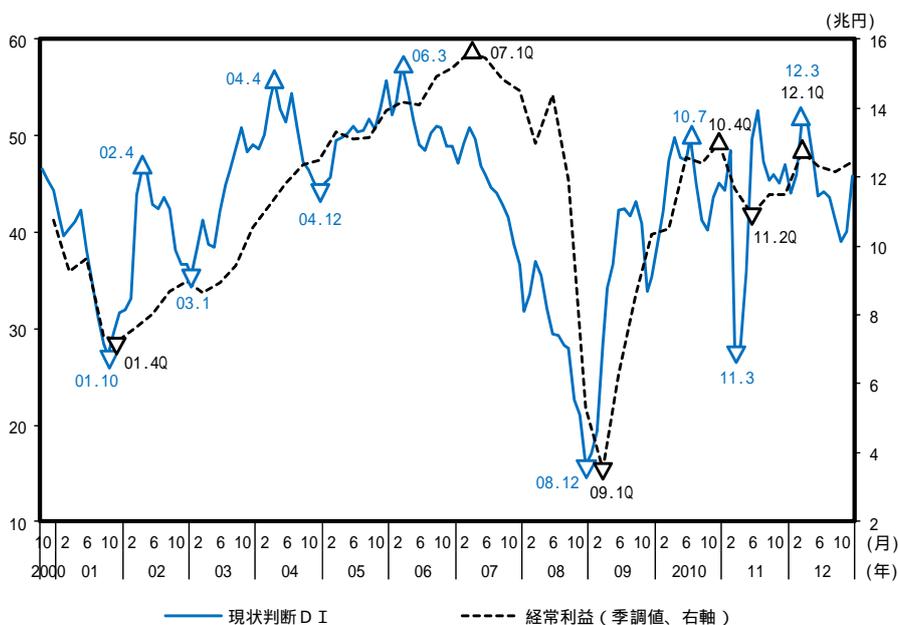
	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
新設住宅着工戸数	-	01.11 (-5)	02.12 (-1)	-	-	06.11 (+8)	09.8 (+8)	11.7 (+12)	-	-	+5.0	+3.5	+4.4
公共工事請負金額	-	-	-	-	-	-	-	09.9 (-10)	11.5 (+2)	-	-10.0	+2.0	-4.0

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。

2. ( )内は対応する現状D Iの山谷との時差。

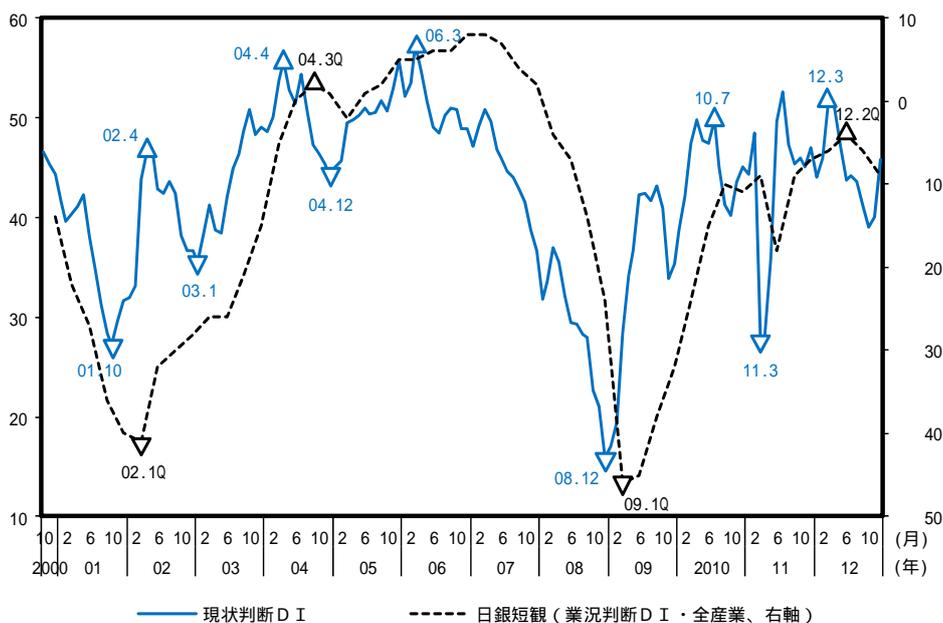
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

図表33 現状判断D I と経常利益



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び財務省「法人企業統計季報」より作成。  
 2. 経常利益は1 - 3月期を3月、4 - 6月期を6月、7 - 9月期を9月、10 - 12月期を12月の欄にそれぞれ記載している。

図表34 現状判断D I と日銀短観



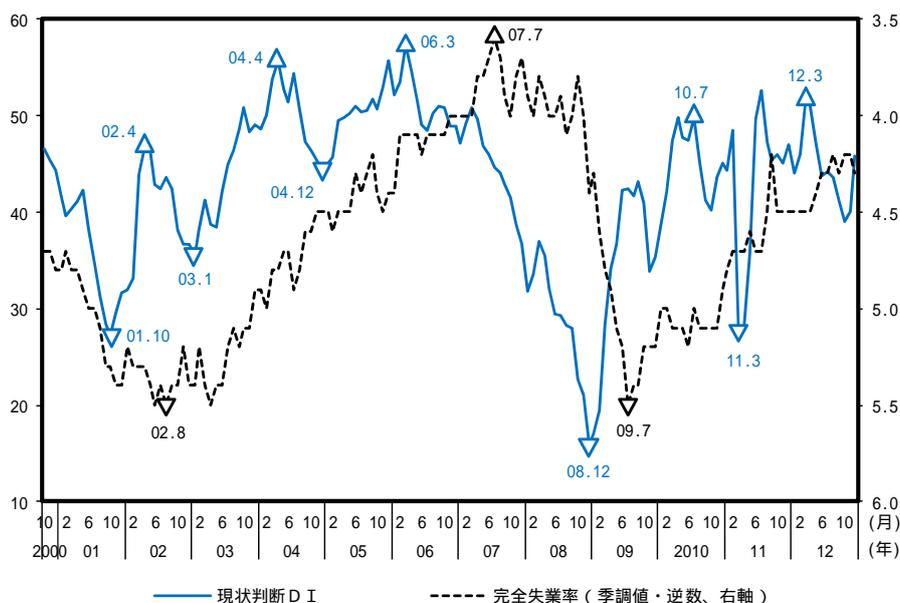
(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び日本銀行「全国企業短期経済観測調査」より作成。

ウォッチャーD I (現状) と経常利益、日銀短観との関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
経常利益	01.4Q (+2)	-	-	-	-	07.1Q (+12)	09.1Q (+3)	10.4Q (+5)	11.2Q (+3)	12.1Q (0)	+5.7	+2.7	+4.2
日銀短観	02.1Q (+5)	-	-	04.3Q (+5)	-	-	09.1Q (+3)	-	-	12.2Q (+3)	+4.0	+4.0	+4.0

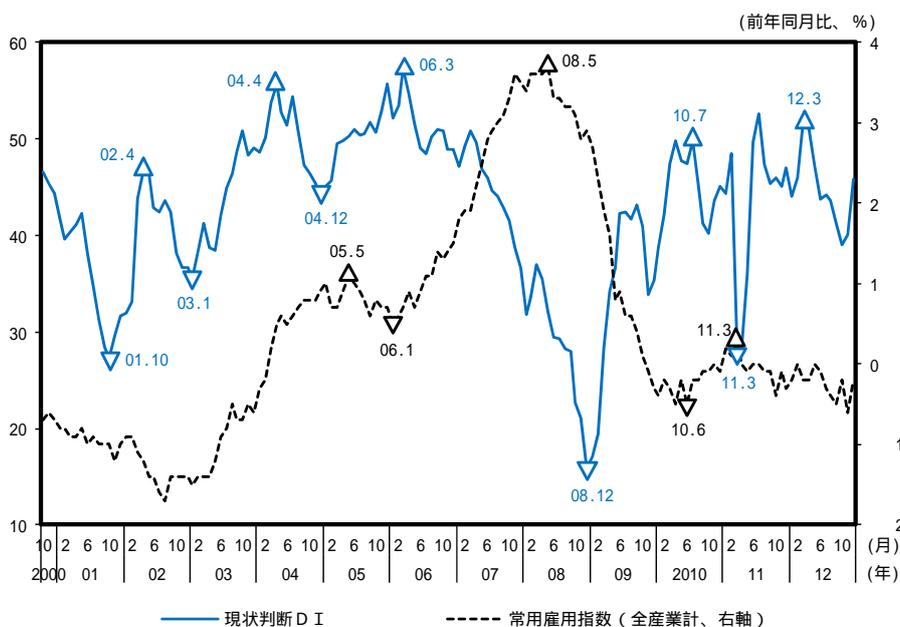
(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。  
 2. ( )内は対応する現状D Iの山谷との時差。  
 3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。  
 4. 経常利益の現状D Iの山谷との時差は1 - 3月期を3月、4 - 6月期を6月、7 - 9月期を9月、10 - 12月期を12月として計算。

図表35 現状判断D I と完全失業率



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び総務省「労働力調査」より作成。  
 2. 完全失業率の2011年3～8月は、岩手県、宮城県及び福島県を補完した推計値。

図表36 現状判断D I と常用雇用指数



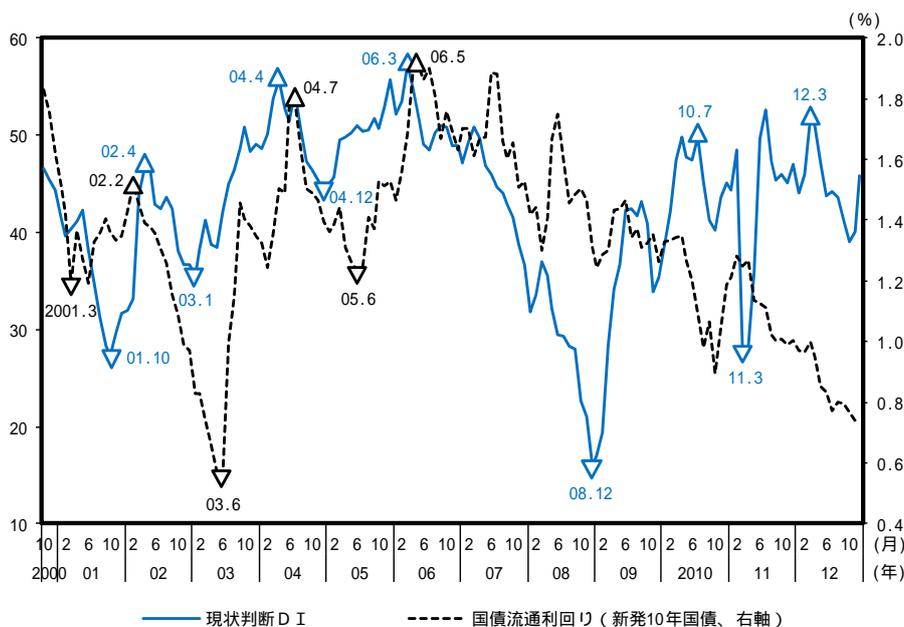
(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び厚生労働省「毎月勤労統計調査」より作成。  
 2. 常用雇用指数は事業所規模30人以上。

ウォッチャーD I (現状) と完全失業率、常用雇用指数との関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
完全失業率	02.8 (+10)	-	-	-	-	07.7 (+16)	09.7 (+7)	-	-	-	+16.0	+8.5	+11.0
常用雇用指数	-	-	-	05.5 (+13)	06.1 (+13)	08.5 (+26)	10.6 (+18)	11.3 (+8)	-	-	+15.7	+15.5	+15.6

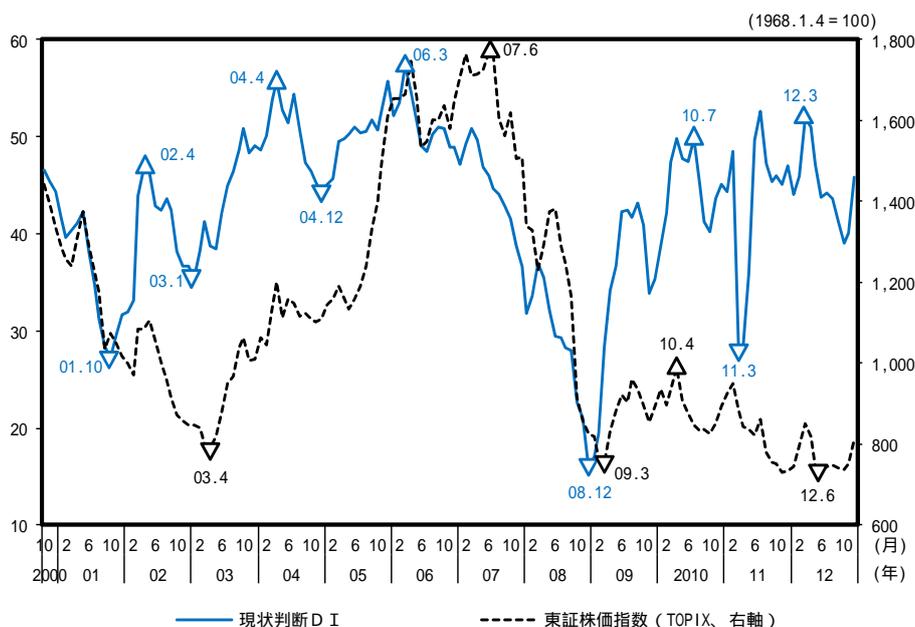
(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D I の谷と山を時点順に並べたもの。  
 2. ( )内は対応する現状D I の山谷との時差。  
 3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。  
 4. 完全失業率は景気の動きに対し反対方向に動く指標であることから、山と谷を逆サイクルとして、現状判断D I の谷と山にそれぞれ対応させている。

図表37 現状判断D Iと国債流通利回り



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び日本銀行HPより作成。  
2. 国債流通利回りは月中平均値。

図表38 現状判断D Iと東証株価指数(TOPIX)



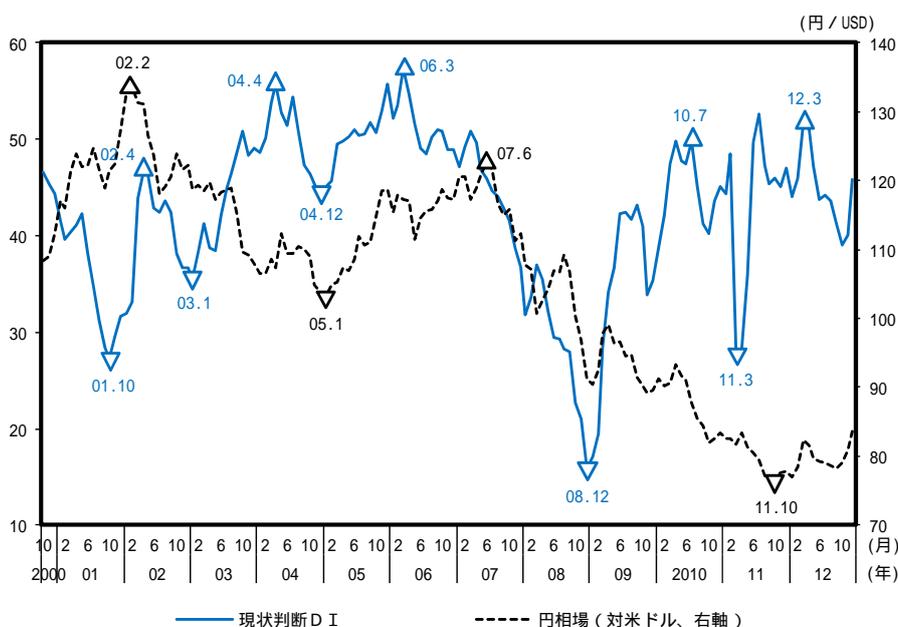
(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」等より作成。  
2. 東証株価指数は月中平均。また、1968年1月4日時点をもととして算出。

ウォッチャーD I (現状)と国債流通利回り、東証株価指数(TOPIX)との関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
国債流通利回り	01.3 (-7)	02.2 (-2)	03.6 (+5)	04.7 (+3)	05.6 (+6)	06.5 (+2)	-	-	-	-	+1.0	+1.3	+1.2
東証株価指数	03.4 (+18)	-	-	-	-	07.6 (+15)	09.3 (+3)	10.4 (-3)	12.6 (+15)	-	+6.0	+12.0	+9.6

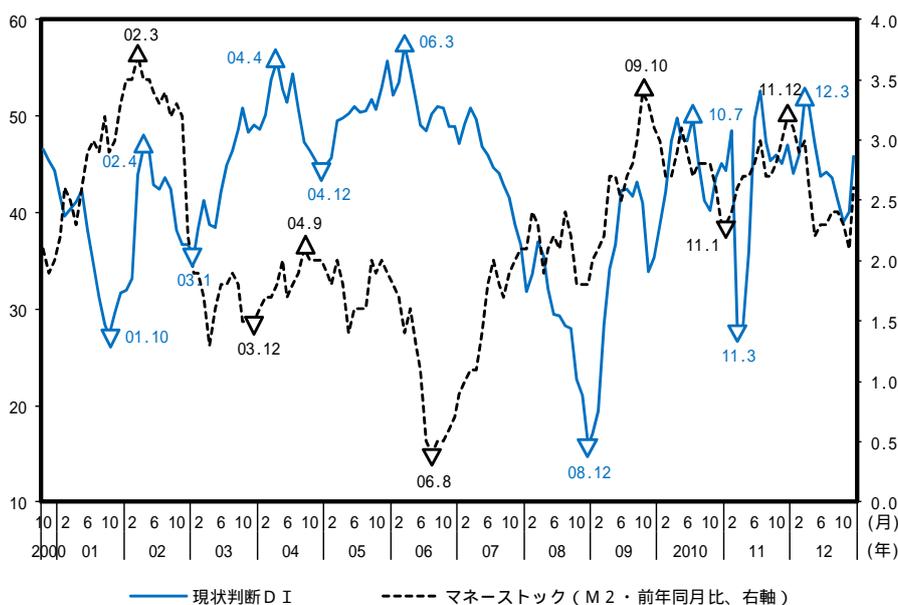
(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。  
2. ( )内は対応する現状D Iの山谷との時差。  
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

図表39 現状判断D Iと円相場(対米ドル)



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び日本銀行HPより作成。  
2. 円相場(対米ドル)はインターバンク直物中心相場の月中平均。

図表40 現状判断D Iとマネーストック(M2)



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び日本銀行HPより作成。  
2. マネーストックは月中平均残高ベース。

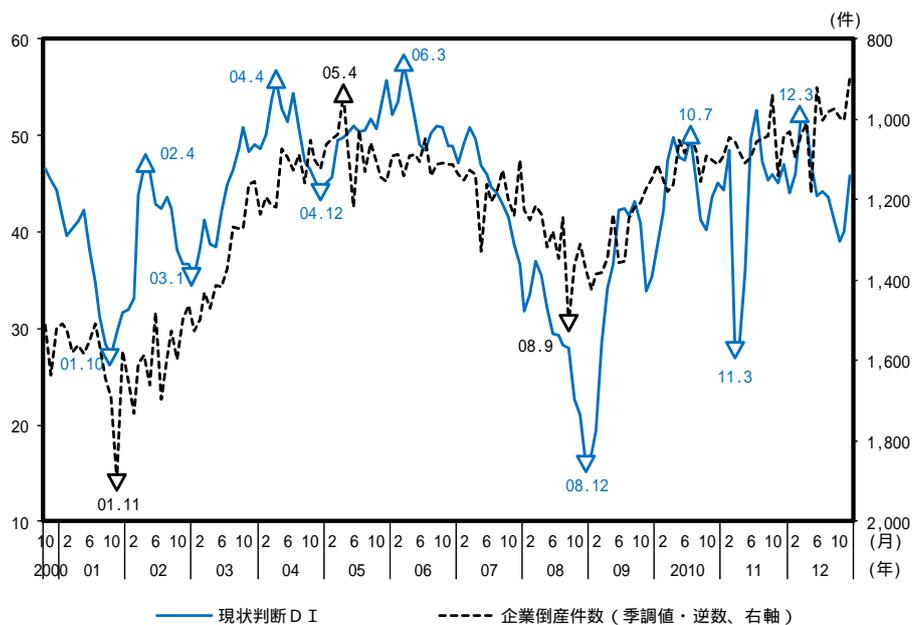
ウォッチャーD I (現状)と円相場(対米ドル)、マネーストック(M2)との関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
円相場 (対米ドル)	-	02.2 (-2)	-	-	05.1 (+1)	07.6 (+15)	-	-	11.10 (+7)	-	+6.5	+4.0	+5.3
マネーストック	-	02.3 (-1)	03.12 (+11)	-	-	04.9 (-18)	06.8 (-28)	09.10 (-9)	11.1 (-2)	11.12 (-3)	-7.8	-6.3	-7.1

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。  
2. ( )内は対応する現状D Iの山谷との時差。  
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。

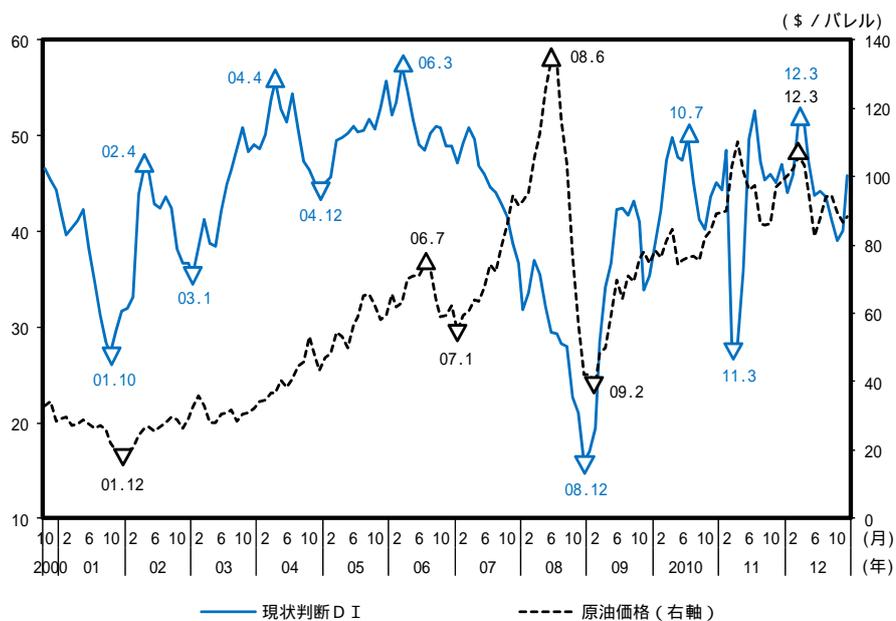
【図表編】

図表41 現状判断D Iと企業倒産件数



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」及び(株)東京商工リサーチ「倒産月報」より作成。  
2. 企業倒産件数は内閣府で季節調整。

図表42 現状判断D Iと原油価格



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」等より作成。  
2. 原油価格はWTI先物価格の月中平均。

ウォッチャーD I (現状)と企業倒産件数、原油価格との関係

	谷1	山1	谷2	山2	谷3	山3	谷4	山4	谷5	山5	AV山	AV谷	AV
現状D I	01.10	02.4	03.1	04.4	04.12	06.3	08.12	10.7	11.3	12.3	-	-	-
企業倒産件数	01.11 (+1)	-	-	-	-	05.4 (-11)	08.9 (-3)	-	-	-	-11.0	-1.0	-4.3
原油価格	01.12 (+2)	-	-	-	-	06.7 (+4)	09.2 (+2)	-	-	12.3 (0)	+2.0	+2.0	+2.0

(備考) 1. 谷1、山1、谷2、山2等は、景気ウォッチャー調査の現状D Iの谷と山を時点順に並べたもの。  
2. ( )内は対応する現状D Iの山谷との時差。  
3. AV山、AV谷、AVは、それぞれ山の時差、谷の時差、山と谷の時差の平均。  
4. 企業倒産件数は景気の動きに対し反対方向に動く指標であることから、山と谷を逆サイクルとして、現状判断D Iの谷と山にそれぞれ対応させている。

【図表編】

図表43 主要指標に対する景気ウォッチャー調査の現状判断D Iの先行期間等

主要指標	サンプル数		先行期間(月)	標準偏差(月)	先行率(%)
	山	谷			
景気動向指数・四半期別GDP					
CI一致指数	2	2	5.3	5.8	75.0
DI一致指数	5	5	0.5	2.7	50.0
実質GDP(季節調整値・実額)	3	3	6.2	8.1	83.3
消費					
小売業販売額(季節調整値)	3	3	1.2	2.7	50.0
消費者態度指数(季節調整値)	3	3	0.8	1.5	66.7
生産					
鉱工業生産指数(季節調整値)	3	3	3.5	8.9	50.0
第3次産業活動指数(季節調整値)	1	2	6.3	7.7	66.7
投資					
設備投資(季節調整値)	1	2	7.7	5.4	100.0
機械受注(季節調整値)	2	2	4.5	2.6	100.0
新設住宅着工戸数(季節調整値)	3	2	4.4	6.3	60.0
企業収益・業況判断					
経常利益(季節調整値)	3	3	4.2	3.8	83.3
日銀短観(全産業)	2	2	4.0	1.0	100.0
雇用					
完全失業率(季節調整値)	2	1	11.0	3.7	100.0
常用雇用指数(前年同月比)	3	2	15.6	6.1	100.0
金融・その他					
国債流通利回り(新発10年国債)	3	3	1.2	4.5	66.7
東証株価指数(TOPIX)	2	3	9.6	8.1	80.0
円相場(対米ドル)	2	2	5.3	6.5	75.0
原油価格(WTI先物価格の月中平均)	2	2	2.0	1.4	75.0

- (備考) 1. サンプル数は現状判断D Iの山谷と対応関係のある主要指標の山と谷の数。  
 2. 先行期間と標準偏差は、サンプルである主要指標の山谷に対する現状判断D Iの山谷の先行期間の平均と標準偏差。  
 3. 先行率はサンプルである主要指標の山谷に対して先行している現状判断D Iの山谷の割合。